

## 私の体験談 火傷 レメディーを使った時と使わなかった時の雲泥の差

CH15 小田悠紀之

### 【要約】

昨年3月、薪ストーブの上に置いてあった、やかんのお茶を飲んで、口の中を火傷しました。ものすごく熱くなっていて、口に含んだ瞬間、ビックリして、吐き出してしまいました。飲み込めないほど熱い物を口に含んだことはありませんでした。

そこで、**Canth.**と**Calen.**を交互に、3回リピートしました。すると、翌日には、ほとんど気にならないくらいに改善していました!! 恐るべし、ホメオパシー。

実は、1ヶ月前にも、同じように、やかんの熱いお茶で口腔内を火傷しました。その時は、熱いと思いつつ、なんとか、飲み込んでしまいましたから、火傷をしたという意識がなく、何もとりませんでした。すると、3週間ほど、味覚が戻らず、火傷のヒリヒリや違和感も、1ヶ月経ってもまだ残っていました。

ホメオパシーのレメディーを、とったか、とらなかったかで、こんなにも自己治癒力が違うのかとビックリ。改めて、ホメオパシーのすごさを実感しました。

しかし、なぜ、前の火傷が残っている間に、同じ事が繰り返し起こったのか。その意味について、考えてみました。

### 【主訴(症状)】

50代 女性 口腔内の火傷

### 【経緯】

幼少期にハウスダストのアレルギー

33才 結婚して、化学物質過敏症

51才 自分の親と同居して、電磁波過敏症

コロナが始まった2020年から、少しずつ、自分のインナーチャイルドとアレルギーについて考えるようになりました。

### 【レメディー選択】

**Canth.** (スペインバエ) 火傷と膀胱炎のNo.1レメディー・ヒリヒリする火傷

**Calen.** (キンセンカ) 火傷・体や心の傷の癒し

ホームキットの中から、**Canth.**と**Calen.**を交互にとりました。

**Canth.**1粒を、舌下で溶けるのを待ち、溶けたら、**Calen.**を同じように1粒、舌下で溶かす。それを、3回繰り返しました。

## 【結果】

- ・翌日には、ほぼ、違和感がなく改善していました。それまで残っていた、1か月前の火傷の違和感も消えて、かえって良くなっていました。
- ・レメディーをとらなかった時は、3週間、味覚が戻らず、火傷のヒリヒリ感も、1か月経っても残っていました。

## 【考察】

まず、2度の火傷の現象でわかることは、気が付くということが自己治癒力を触発するのに、いかに大切かという事です。

1度目の火傷では、火傷したという自覚がなく、飲み込んでしまった。だから、何もせず放置して、長い時間が経っても改善が進まず、ふと気が付くと、なぜ、味がわからないのだろうか？なぜ、口がヒリヒリするのだろうか？と悩む。それほど、自分に無頓着であったという事です。

2度目の火傷では、飲み込めないほど熱いお茶を口に含んで吐き出した。そこでやっと火傷に気が付いて、火傷の同種のレメディーである、**Canth.**と**Calen.**をとった。その事で、さらに大きな火傷のエネルギーが入って、自己治癒力が触発されて、改善が進んだという事です。

では、この2度の火傷の現象は、私に何を気づかせようとしてくれていたのでしょうか？

私は、飲み込んだら大火傷をするような事を、無理をして自分を納得させて飲み込んで来たのですよ。飲み込めないほど熱いものを口にしないと、火傷したことも気が付かない。それほど、自分の気持ちを感じないように生きてきたのですよ。そうしないと、自分を保てなかったから。と、いう事でした。

私は、自分の人生の中で、何度も自分の意に反したことを飲み込んで、自分の本当の気持ちをあきらめて生きてきました。そこで、何もなかったかのように、怒りと悲しみとあきらめと、絶望を胸の奥深くにしまい込んで生きてきました。

しかし、最近になって、健康相談を受けるようになってから、少しずつ、これらの気持ちに気が付いてきました。ですから、この火傷の事象でわかったように、胸の奥深くに置き去りにされた気持ちと同種のレメディーを取って、その気持ちを感じ切つてあげようと思います。感情の解放をして、インナーチャイルドを癒していきたいと思います。